

プロジェクトマネジメント学会四国支部総会・年次研究大会開催報告

中内伸二
株式会社 STNet

Report of the Symposium 2021 Shikoku Branch of the Society of Project Management

Shinji Nakauchi
STNet, Incorporated

1. 四国支部総会・年次研究大会の報告

プロジェクトマネジメント学会四国支部では、2021年2月19日（金）、オンラインにて四国支部総会が開催され、2020年度事業報告・決算報告および、2021年度事業計画・予算案を審議し、承認されました。



四国支部総会の様子

四国支部総会に引き続き、年次研究大会を開催いたしました。

四国支部年次研究大会

日時：2021年2月19日（金）

開催方法：オンライン

共催：香川大学創造工学部、香川大学産学連携・知的財産センター技術交流協力会

後援：特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会

年次研究大会には、香川大学創造工学部講師の國枝 孝之氏をお招きし、基調講演をいただきました。

國枝氏による基調講演のほか、会員から3件の研究発表がありました。

基調講演：

「地域課題解決とオープンイノベーション」
國枝 孝之氏（香川大学創造工学部 講師）

國枝氏は、企業での研究開発から新規事業創出に従事されたご経験を経て、現在は、香川大学創造工学部、造形・メディアデザインコースで、社会や地域の課題に対し、新しい技術と新しいアプローチ方法によるイノベーション創出を目指し、日々研究をされております。基調講演では、「地域課題解決とオープンイノベーション」と題し、企業時代から香川大学と、香川県の自治体との産学官連携により進めてこられた、旅の思い出を記録する観光ガイドブック生成/印刷システム「KadaPam(カダパン)」をご紹介頂くと共に、オープンイノベーションの利点、また実際に展開する際の難しい点についてお話頂きました。



國枝氏による基調講演

発表 1 :

「予兆把握で始めるリスク管理」
中積 航氏（中央コンピューター株式会社）

複数の不採算案件の分析から得られた顕在化前のリスクを「予兆」とし、予兆における重点監視項目について、ご紹介頂きました。



中積氏による発表

発表 2 :

「QCT の向上を目指して」
三井 晋也氏（株式会社 DynaxT）

QCT の向上を目指すための取組みや、その取組みによって得られた成果、今後の課題について、お話頂きました。

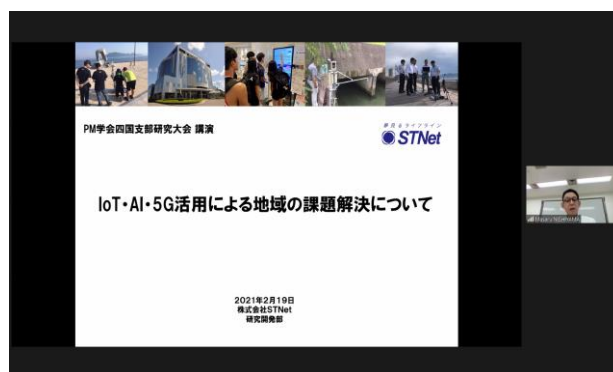


三井氏による発表

発表 3 :

「IoT・AI・5G 活用による地域の課題解決」
西山 賢氏（株式会社 STNet）

企業や大学などと協力関係を築き、地域が抱える課題を IT で解決する実証実験の取り組みをご紹介頂きました。



西山氏による発表

2. 今年度の活動予定

本年度も、香川大学創造工学部、香川大学産学連携・知的財産センター、ITC 団体（ITC 四国、ITC かがわ）や香川県情報サービス産業協議会などの団体や他学会との交流を一層深め、幅広い方に研究会への参加を呼び掛け、新規会員の開拓に努めたいと考えています。

また、PM の基礎的な手法の研修に加えて、四国地域の活性化につながる実践的な取り組みを紹介することで、活動を一層活性化していきたいと考えています。

活動日程

2月19日：総会および年次研究大会
（オンライン開催）

6月、10月：四国支部研究会

その他：本部主催の春季、秋季研究発表大会への参加

3. お礼

最後になりましたが、年次研究大会の運営に関し、本部の方々には、多大なご支援をいただきました。厚くお礼申し上げます。

【四国支部問合せ先】

香川大学 創造工学部

荒川研究室内 PM 学会四国支部事務局

〒760-8521 香川県高松市幸町 1-1

Email:shikoku_ml@spm-hq.jp

HP:<https://www.spm-hq.jp/committee/shikoku/>